

あさお市民活動
レポート

発行元 認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター



麻生区区制40周年記念
「冠」事業

あさお ふれんず

Asao friends

4
2022

あさお和風の会



岡上アグリ・リゾート



麻生区 地域コミュニティ活動 支援事業

2021年度 実施報告会

日時 4月8日（金）、13時～14時30分

場所 麻生市民交流館やまゆり2階会議室

参加団体（順不同）

● 特定非営利活動法人岡上アグリ・リゾート

「次世代につなげる地域資源

農と保育の農育プロジェクト

● あさお和風の会

「和風つくりによるコミュニティ作り

● 音楽ユニット Pentas

「Sing! Move! Smile!」

コンサート及びワークショップ

● こどもしんぶん部

「こどもしんぶん」で地元の魅力を再発見

● 平和を願う会

「平和の尊さを伝え、平和を守り、
育てていく若者たちを輩出する

麻生区で活動するボランティアや市民活動団体が、地域の中で集い地域に愛着を持って、互いの良好な関係を築き、新たなコミュニティづくりを可能にする公益性の高い事業を推進するために、その事業資金の一部を支援することを目的として2008年度から実施している支援事業です。

麻生区で活動を展開している団体を知るとよい機会です。ご興味のある方は傍聴してみても。（傍聴は自由です。先着20名）

2022年度 応募団体公開プレゼンテーション

日時 4月15日（金）、13時30分開始

場所 麻生市民交流館やまゆり2階会議室

参加団体（順不同）

● 特定非営利活動法人 岡上アグリ・リゾート

● あさお和風の会

● 音楽ユニット Pentas

● こどもしんぶん部

● 総合型地域スポーツクラブ 金程中学校区

「わ・わ・わ・クラブ」

音楽ユニット Pentas



平和を願う会



こどもしんぶん部



優雅に美しく、笑顔で踊ろう



「やまゆり利用登録団体活動発表会」で。
あでやかな踊りで大好評だった

「地域に密着したフラダンスを」。リーダーのそんな思いから「フラ オハイアライ」は生まれた。2021年夏にスタートしたフレッシュな集まりだ。

東京都稲城市の教室で10年あまり学んでインストラクターの資格を得た五味麻利子さん。「自分が暮らしている麻生区で、地域に密着した、地域とともにあるフラの活動をしてみたい」と思い立ち、21年4月に麻生市民交流館やまゆりで、区民講師公開講座「貴方もフラガール！」を開いた。講座に参加した受講生の有志が集まり、五味さんが指導者となって発足したのがこのグループだ。

コロナ禍でのスタートとあって、活動開始は秋になったが、そこからは月3回の練習日を設定して着実に基本

フラ オハイアライ

を身につけてきた。メンバーの大半が未経験者だったが、「みんな上達が早い」（五味さん）と、順調に3曲をマスター。その成果を、22年2月に開かれた「やまゆり利用登録団体活動発表会」で披露し、喝采を浴びた。

「曲に癒されながらゆったり踊るのがフラの楽しさ。基本を正しくマスターして、優雅に美しく。そうなれば、踊りながら自然に笑顔になります」と五味さん。メンバーからは「基本をきちんと教えてもらうと、きれいに踊れる」「初心者でも楽しい」「脳トレにもなる」「五十肩が治った」などの声も。「いろいろな場所にこちらから出向いてもみたい」と、五味さんは地域密着の夢をふくらませている。

取材：文 区民記者 佐藤次郎



代表：五味麻利子
連絡先：090-4399-5810
(mari-mari.goai226fs@docomo.ne.jp)
設立：2021年7月
会員：9名
会費：1回1000円
活動日：月3回
(主として金曜。月曜日1回入れる)
場所：麻生市民交流館やまゆり、
麻生市民館、山口台会館など

ジーンズを仕立て直して楽しむ

年を重ねて着られなくなったジーンズなど、愛着があって捨てられずに持っている人は多いと思う。直しに出すと高いので、ついでの好みの模様を加えて自分で直し、楽しむ人がいる。

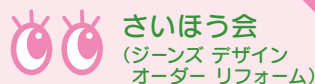
「おしゃれの基本はズボンとシャツと靴が体に合っていること」が信条の佐俣さんは、器用なこともあって、若いころから集めたジーンズを直したり、友人に頼まれれば直してあげた。

これが口コミで広がり3年前に同志で会を立ち上げた。初心者はストライプ柄を使って直線縫いから始める。仲間に女性の裁縫師範がいるので心強い。道具は太めの針、糸、ハサミ、千枚通しと指ぬき。好みのポケットやボタンに変えたり、パッチをあてたりと、凝りだすときりが無い。刺繍を覚えると出来栄に一段と華やかさが加わる。



ストライプ柄を加えたデザインが特徴
(右下のジーンズ)

さいほう会



代表：佐俣 旭
連絡先：090-3209-1652 (佐俣)
設立：2019年4月
会員：7名(男性4名、女性3名)
(30~80歳代)
女性1名は裁縫師範
会費：なし
活動日：原則月曜13時から17時
(取れ次第)
場所：麻生区役所柿生分庁舎



好みのジャケットでご満悦(代表の佐俣さん)

苦勞することは、好みの生地を探すこと。岡山の児島産の生地が一番だが、最近はストライプ柄の人氣がなく入手しづらいとのこと。今後の抱負を聞くと、「革のジーンズが縫えるようになること、ジーンズ好きなアメリカ人の仲間を作ること」と熱く語った。

取材：文 区民記者 中島久幸

新しい裁縫の技を生み出すことは意外と楽しいので、一度訪ねて欲しい。

知れば知るほど奥深い ヨガを始めませんか？

アシュタンガヨガ新百合ヶ丘

身体バランスを整え柔軟性向上やダイエット効果もあると言われるヨガ。健康志向の強まる昨今、関心が高まっている。今回は通常のヨガとひと味違った「アシュタンガヨガ」のサークルを取材した。

アシュタンガヨガは、胸式呼吸でルールに従った順番でポーズを行い、体の内側から血行を促進させる。ポーズごとの決められた場所に意識を集中させて筋力増強、代謝量のアップをはかるといふ。通常のヨガに比べるとややハードだが、今回取材した「アシュタンガヨガ新百合ヶ丘」の指導者は整体師の資格を取るほど研究熱心で、初心者にもボールなどを

使った筋膜リリースの方法も教えてくれる。いつのまにか体が動くようになって驚く人も多い。レッスンは少人数で一人ひとりの状態に合わせて指導してくれる。無理なく体調を考慮して続けていくのが上達のコツだという。

代表の別府さんは「誰でも立ち寄れるヨガの練習場を作りたい。孤独は大敵、ヨガを通じて集い支え合える場所づくりを目指したい。まだ夢ですけど」とちよっぴりにはかむように話す。技を極めるだけでなく幸せの場づくりにまで思いを馳せているその素晴らしいさに感動した。「優しい街づくり、頑張ってくださいね！」と思わず心の中で呟いた。

取材・文 区民記者 名越耀子



紙面では聞こえないが胸式呼吸でかなりの運動量になるそう

Instagram



アシュタンガヨガ
新百合ヶ丘

代表：別府未知子
連絡先：michibp5@gmail.com
設立：2017年
会員：12名(男性1名、女性11名)
会費：1500円/回
活動日：水・土・日曜日 9:30～
場所：麻生市民交流館やまゆり
HP：<https://select-type.com/bp-asyutangayoga-shinyuri/>

「総合型地域スポーツクラブ」づくりをめざして 「コア」みんなの部活動

Club Ours Asao

健康な生活が続けるためにスポーツのたしなみは欠かせない。しかし人生にスポーツを取り込むことは簡単ではない。楽しめるだけの技術、仲間、場所、時間、費用etc. なかなか条件がそろわないのが現実だ。それだけに一度そろうとその絆は強いものとなる。

コア(Club Ours Asaoの略称)の代表、広瀬賢吾さんは長くPTA活動に携わり、子どもをキーとして保護者や地域とかわってきた。やがて子供のサッカー、ママさんバレーなどからスポーツをキーとしたコミュニティの核(コア)作りにたどり着く。

コアのバレーボールは「混合バレーボール」と呼ばれる男女混合6人制の競技だ。男女の力の差を絶妙にカバーしあって戦う。ゆえに初心者に優しい。部活OB、ママさんバレーなどに腕に覚えのある人たちとプレーする。男子はさりげなく必死に、女子や初心者を力バする。「怒声」は飛ばず、笑いが「檄」だ。その中心でプレーする、バレーボールの未経験者であった広瀬さん。熱い！

LINEやホームページで連絡しあう今風のクラブ、年会費は実費の会員数割という明朗会計。大会にも参加する。

取材・文 区民記者 景山茂



練習試合もこの盛り上がり



笑顔がたえないチームと広瀬代表(前列左より4番目)



Club Ours Asao

代表：広瀬賢吾
連絡先：<http://www.club-ours.com/> (HPより)
設立：2009年春
会員：30名(男性15名、女性15名)
年会費：2000円から3000円(実費)
開催日：ホームページに告知
場所：麻生中学校体育館



はるひ野里山学校 ボランティア募集

こんな活動をしています!!

◎外来種駆除◎
水質を悪くするアメリカザリガニや土の栄養を取る外来種植物等を駆除しています。



◎在来種保護◎
絶滅が心配される生き物が多くいます。彼らが安心して暮らせるよう環境を整えています。



◎林床の整備◎
草刈りや枝打ち、間伐を行って林内、および公園内の環境整備を行っています。



◎生き物調査◎
この公園に生息する動植物の数などを調査し、保護に努めています。



公園開放日にぜひお越しください☆

●お問合わせ● 代表:原
TEL:080-7961-1433
MAIL: haruhinosatoyamagakko@gmail.com



こんなグループです。会員募集しています

はるひ野里山学校(以下「里山学校」と表記)は、はるひ野、黒川地区の里山環境を保全し、次代へ継承したいという思いから、はるひ野駅前の黒川谷ツ公園(くろかわやつこうえん)で16年間活動しているグループだ。公園内の動植物の

調査・観察、紹介やイベント開催、さらに、枝払い、笹刈り、園内点検や清掃のほか、地域の小学生への学習支援なども行っている。

里山学校の貴重な活動成果の一つに2009年4月〜2020年3月の11年間、公園内の動植物の生息状況を調査した「黒川谷ツ公園 生き物調査記録」がある(現在は入手不可)。1300種類の生物が確認され、生態系の変化やアメリカザリガニの駆除の効果として、カエルの卵塊が39から210に増えたことなどが明らかにになった。2020年これらの活動が評価され「川崎市環境功労者」に選出、表彰された。

会員には、黒川谷ツ公園が



自然にふれて家族で楽しめます。右端は里山学校会員

気に入り夫妻で会員になった人、植物のことが誰よりも詳しい女性、100種類以上の昆虫を同定した「博士君」な小学生などもある。

黒川谷ツ公園は閉鎖公園で、動植物の保護と環境の保全のために開放日以外は入園できない。開放日は月に3〜4日、9時30分〜15時なので、詳細はHPで確認を。

暖かな天気に恵まれた取材日は、一人でやってきた学生らしい男性、何組もの親子連れがコロナを気にすることもなく、のんびりと寛いでいた。

なお、里山学校では会員を募集している。半日のボランティア体験も可能なので、公園開放日にぜひ参加を、とのことだ。

のさとやまがっこう
はるひ野里山学校



代表:原 栄一
連絡先: 080-7961-1433
haruhinosatoyamagakko@gmail.com

設立: 2006年4月
会員数: 22名(男性14名、女性8名)
会費: 1200円(1家族当たり/年間)
活動日: 公園開放日(=詳細はHPで確認を)
場所: 黒川谷ツ公園(くろかわやつこうえん)
HP: <https://haruhinosatoyama.jimdo.com/>

取材・文
区民記者 仲原照男

ふれんずの輪を広げよう

区民記者が、あなたの活動を取材します!

活動を紹介
して欲しい

取材申し込み方法

応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤など麻生区に関わる方が活動に参加している。

申込方法

①団体名 ②代表者名 ③連絡先(電話・FAX・メール)
④活動内容(イベントの場合は開催日時・料金・内容)
をFAXまたはメールでご連絡ください。

イベントを
取材して!

あさお区民記者

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。原則、第2木曜日に『麻生市民交流館 やまゆり』で編集会議を行っています。過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。



麻生市民交流館やまゆり

〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1-11-5

FAX 044-951-6467

MAIL info@asao-ku.net

お申込みいただいた内容については、編集会議で可否を検討したうえ、改めてご連絡させていただきます。

※選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、営利目的の団体・個人、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。